

ご寄付のお礼

●現金

近江舞子しょうぶ苑家族会 様
「菜ノ花ノ会」会長 木村喜代嗣 様
匿名希望 様

●物品

近江舞子しょうぶ苑家族会 様
夜西 敏成 様
株式会社桑原組 代表取締役 桑原勝良 様
その他、匿名希望 様

上記は、ご公表の許可を頂いた方のみ
掲載しています。誠にありがとうございました。

ありがとう
ございます



昨年度の



- 2024. 5 和邇平和堂内で、送迎付きの運動クラブを開始しました。
- 2024. 7 法人設立30周年記念イベントを職員向けに実施しました。
- 2024.10 イベントこっこらぼを再開しました。
- 2025. 3 近江舞子しょうぶ苑家族会について散会となり、後援会に発展的吸収されることになりました。

社会福祉法人 志賀福祉会 広報

尚武

発行 社会福祉法人志賀福祉会
2025年 5月 第62号
(しょうぶ便り 改め 尚武※)

※勤俣尚武
『よく働いて質素につとめ、武勇を尊び励むこと。武道（人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度）を大切なものとする』より。端午の節句の異名、菖蒲の節句の語源。創設時副理事長の言葉より。

職員募集

詳細は、ハローワークでご確認ください。
行き違いで募集完了となっている場合もあります。
詳しくは、法人事務局三宅までお問い合わせください。

- 近江舞子しょうぶ苑 常勤 看護職員
- 近江舞子しょうぶ苑 非常勤 福祉有償運送等協力員
- こすもすキッズ真野 常勤 保育職員
- 近江舞子および真野 常勤 介護職員（経験者）
- 仰木の里に夏以降、新規事業開始予定。オープニングスタッフ



いきいきと楽しく働くことができるよう、働きやすい職場環境に努めています！
退職金を含め、福利厚生も充実しています！是非、一緒に働きましょう！！

ホームページのご案内



社会福祉法人 志賀福祉会 🔍 検索

■ホームページ・フェイスブックも是非ご覧ください！！

編集後記

最後まで御覧頂きありがとうございました。
理事長あいさつ文のとおり、今回から内容を新聞状だったものを冊子状のものに変更し、名称も「しょうぶ便り」から「尚武」に変更されました。
この一年間のフェイスブック等で使用した記事を中心にする事で、職員負担を軽くすることもできました。空いた時間にご利用者と関わる時間が増えると良いなと思っています。今後も、広報「尚武」をどうぞ宜しくお願いします。



マスコットキャラクター
決定!!

イベントこっこらぼ【こすもす祭りをしていた場所(真野しょうぶ苑)で、後援会も含め、志賀福祉会と地域が交流を目的としたもの】のなかで一般公募によって選ばれた子たちです。
“にこる”と“こっこ”を、法人ともども、これからも宜しくお願いします。誕生日は10月5日です。

第62号

社会福祉法人 志賀福祉会

▲ 近江舞子しょうぶ苑
【住 所】〒520-0502
滋賀県大津市南小松 90番地
【電話番号】077-596-2233
【FAX 番号】077-596-2231
● 居宅介護支援センター
【電話番号】リモートワーク推進のため各担当者に直接ご連絡ください
● 小松地域包括支援センター
【電話番号】077-596-2260
【FAX 番号】077-596-2262

▲ 真野しょうぶ苑 ● こすもすキッズ真野保育園
【住 所】〒520-0232
滋賀県大津市真野 4丁目2番1号
【電話番号】077-573-1155
【FAX 番号】077-573-5577
● 近江舞子しょうぶ苑
・ 真野しょうぶ苑共通
【E-mail】syoubu.mx.biwa@shiga-f.com

理事長のご挨拶

～広報尚武（旧しょうぶ便り）に寄せて～

社会福祉法人志賀福祉会は昨年7月に、法人設立三十周年を迎えることができました。これもお支え頂く、ご利用者・ご入居者、そのご家族様・関係者様、地域の皆様、業者の皆様、関わってくださった全ての方々の、温かいご支援ご協力のおかげです。この場をお借りしまして、改めまして、厚く御礼と感謝を申し上げます。

さて、我が国の同盟国アメリカでは、2025年の1月から第二次トランプ政権がスタートし、賛否は非常に大きいものがありますが様々な改革が一気に進められています。それに比べ、この日本においては、マスコミの報道をみている範囲では、噂話で揚げ足をとりあい、過去に引き摺られ、未来に向けて、大切なことが遅々として進まず、決められない惨状に忸怩たる思いをもつ今日この頃です。伝統は守りつつも、現在の状況をみて変化をし続けることや、変化しようとする者を尊重する社会であって欲しいと切に願うばかりです。

法人が平成9年7月から発行している広報『尚武』（旧しょうぶ便り）ですが、ここ数年間は職員負担軽減のために年一回の発行であったことから、発行時に記事の内容が古くなっていたり、季節感のあわないものが掲載されていたりしました。又、一部（広報チーム長等）の職員の負担が大きくなっている状況もありました。

そんななか、冒頭のお話ではないですが、広報誌においても作り方を変えることにしました。当初の作り方は完全白黒印刷ではじまり、平成13年には部分カラー化し、題字もその時から、主役であるご利用者・ご入居者をお願いし、毎号変更する形にしました。（懐かしいですが当時の広報委員長であった私のときに変更しました）。その後は、フルカラー化や、年数回発行だったものが、年一回発行になるといった変化を経

ています。

今号から、過去一年間にフェイスブックに掲載した内容（3-5月、6-8月、9-11月、12-2月のまとめ記事）を中心の記事に変更し、掲載するボリュームが増えています。デジタル媒体での広報は情報発信がしやすい反面、デバイス（スマホ等）がないと見るできないという欠点もあります。紙のもつアナログのぬくもりも感じながら、紙面を受け取った方々に我々の取り組みが伝えることができることから、デジタルとアナログの併用で進めていく予定です。

今後の法人運営においても、どう選択し、どう行動するか。私たちに求められているのは、行動だと信じ、これからも地域の皆様と一緒に法人を育てていく所存です。

これからも、『しょうぶ便り』改め、『尚武』と社会福祉法人志賀福祉会を、どうぞ宜しくお願い致します。

理事長 村田 隆



ご入居者の作品です。
ハガキサイズくらいの素晴らしい絵手紙を毎回頂き、私のデスクマットの下に敷いていましたが敷き詰めることができない量になりました。ご本人様の許可を得て、この場を借りて紹介させていただきます。いつもありがとうございます。

両拠点施設長のご挨拶



春の日差しを感じる季節となりました。

日頃より皆様からのご支援・ご協力を賜りありがとうございます。さて2024年度、徐々に以前の日常に戻り、ボランティア活動や行事が制限はあるなか行えるようになりました。一年間の様子をまとめておりますので、苑でのご様子を感じて頂ければと思います。

今後もしょうぶ苑でお過ごし様子や行事など発信していけたらと思いますので、引き続きよろしくお願い致します。

近江舞子しょうぶ苑 施設長 東 記子

しょうぶ便りをご覧いただきありがとうございます。

真野しょうぶ苑で施設長をしています湯浅と申します。コロナウィルス感染症が5類に移行後1年半が経過し、当施設ではイベントの開催や地域との交流など、感染症流行前の日常を取り戻しつつあります。今回の広報では、沢山の笑顔が掲載されています。

今後も皆さまの笑顔を引き出せるよう、施設一丸となって楽しいイベントなどを企画してまいります。

真野しょうぶ苑 施設長 湯浅 潤一

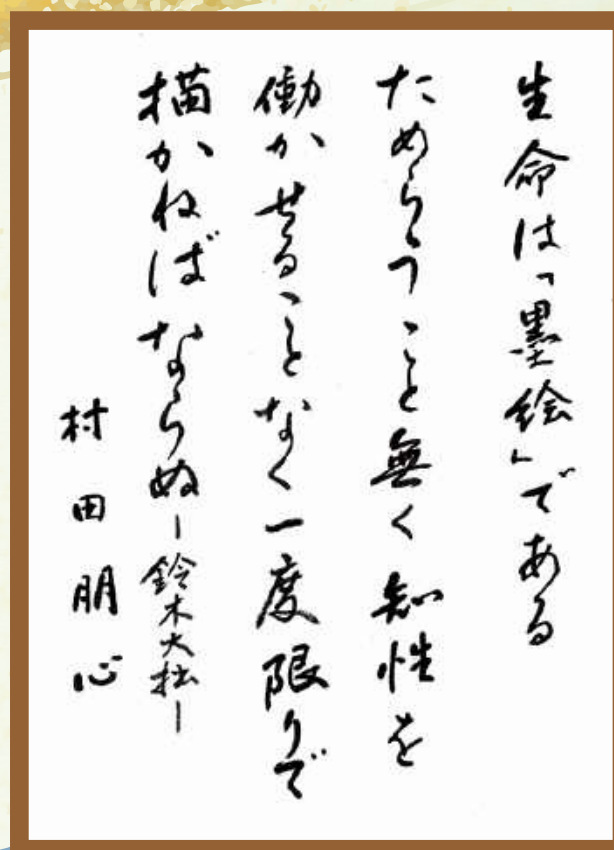


表紙のタイトル(題字)について

これまで、しょうぶ便りのタイトル(題字)は、ご入居者、ご利用者に依頼していましたが、今回、冊子状に改め、名前も、しょうぶ便りから、尚武に名称を変更したタイミングにあわせ、創設時の副理事長である、村田和子氏(雅名 朋心)に、依頼をさせて頂きました。

題字にあわせ、添えられていたメッセージです。

ありがとうございました。



近江舞子しょうぶ苑

春

の思い出 3月～5月

梅雨に入る前から気温が上昇して早くから夏の気配を感じることもありました。さまざまな活動を通じてご利用者・ご入居者のたくさんの笑顔を見せていただくことが出来、職員も癒され元気づけられました。



ときめきスイーツ

手作りあんぱんをはじめ、シュークリームや関東風桜餅、あじさいゼリーなど、新作スイーツが続々と登場しています。自家製炭焼きピザを外で提供することもあり、毎回、皆さんから「おいしいわ～」「良かったわ」と嬉しいお言葉と素敵な笑顔をいただいています。



近江舞子しょうぶ苑

デイサービス

クラフト教室ではポピーの壁掛けや鯉のぼりの入れ物作りを楽しみ、おやつ作りでは春の三色白玉あんみつを作りました。また、毎月15日にはビンゴ大会を開催し、キルト教室では鍋敷きや小物入れを作成しました。さらに、巨大鯉のぼりを掲げたり、茶歌舞伎を楽しんだり、多彩な活動を行いました。



お花見と苑外活動

桜の季節にはお花見や苑外喫茶に出かけ、うらかな春の日差しと風を感じることができました。また、バラ園にも足を延ばし、見ごたえのあるバラを堪能しました。舞子浜へのお散歩も、近くではありますが良い気分転換になりました。さらに、100歳を迎えるご入居者のお祝い外出にも出かけました。



近江舞子しょうぶ苑

ボランティア活動

コロナ禍前ほどではありませんが、ボランティアさんの来苑も増えてきました。オカリナ演奏やフラダンスショー、フォークダンス、マジックショーなど、多くの楽しいイベントが行われました。



春の出来事は多彩で、ご入居者の皆さんやスタッフ一同、季節を感じながら楽しい時間を過ごしました。



職員研修

職員も研修を開催しながら、知識や技術の向上に日々努めています。この春には褥瘡予防研修を行い、ケアの質を高める努力を続けています。

近江舞子しょうぶ苑

夏

の思い出 6月～8月
ときめきランチ

デイサービスでは、お祭り屋台をテーマに、目の前で焼きそばやお好み焼きを焼くスタイルでランチを提供。ご利用者からは「おかわりがしたい」との声が多く、たくさん召し上がっていただきました。今後も季節に合ったメニューや提供方法を考え、喜んでいただけるサービスを続けたいと思っています。



ときめきスイーツ

今年の夏、ときめきスイーツでは暑い時期にぴったりの、味も見た目も爽やかなゼリー類を中心としたメニューを提供しました。特に人気だったのは、ヨーグルトプリンとレモン味ゼリーの二層仕立ての「紫陽花ゼリー」。その美しい見た目に加えて、さっぱりとした味わいで、おかわりをする方も多くいらっしゃいました。



近江舞子しょうぶ苑

デイサービスの活動

毎月恒例のクラフト教室では、クラフト紙を使って向日葵をあしらった帽子を作成しました。さらに、屋台メニューとして焼きそば、お好み焼き、チョコバナナを自由におかわりできるイベントも開催し、ご利用者から「久しぶりや〜」と大変好評でした。数日後には夏祭りも行い、皆様に「夏」を存分に楽しんでいただきました。



おやつ作りでは、苑の畑で収穫した梅を使って梅ジュースを作ったり、ご提供いただいた紫蘇で2回にわたって紫蘇ジュースを作成。どちらも「美味しい」と大好評で、夏バテ防止にも一役買いました。七夕飾りの際には、男性ご利用者の微笑ましい笑顔に癒され、6月に園芸教室で植えた花が暑さに負けず咲いている姿に元気をもらいました。

この夏は、ピアノ演奏や日本舞踊、コーラスグループなど多くのボランティアの方々による非日常体験もあり、ご利用者にとっても喜んでいただけました。毎月一回のキルト教室でも、参加者の技術がどんどん向上し、職員も驚いています。

近江舞子しょうぶ苑

菖蒲町

館内では、涼を感じていただけるような催しを行い、外の景色や廊下を歩く際の日差しなど、何気ない日常の風景からもご入居者が季節を感じられる夏を過ごしました。暑さに負けず、ゆったりとした生活を大切にしながら、夏バテ防止を心がけました。



山吹・大空町

近江舞子で行われた花火大会では、屋上から打ち上げ花火を見て、皆様にお楽しみいただきました。



若草町

今年の夏も多くのイベントや外出、昼食会、花火観覧などを皆で楽しみました。来年も、皆様が楽しめるような企画を考えたいと思います。

ご入居者の皆さんとスタッフ一同、楽しい時間を共有しながら猛暑の夏を乗り切りました。まだまだ残暑が厳しい時期が続きますが、引き続き体調に気をつけながら過ごしていきたいと思います。



近江舞子しょうぶ苑

秋

の思い出 9月～11月

秋のときめきスイーツは、りんごやさつまいも、かぼちゃを使用し、さつまいもや、かぼちゃの優しい甘さ、色味を感じていただけるようなスイーツを作りました。ロールケーキにさつまいもを使用し、あんドーナツの生地にはかぼちゃを練りこみました。フルーツサンドにはシャインマスカットを使用しました。切ると、きれいな断面に仕上がリ、「きれいやな～」と見た目も楽しんでいただくことができました。どれも好評で、おかわりをしてくださり嬉しく思いました。寒くなると温かい飲み物と甘いものが、特に美味しくなりますね。冬も喜んでいただけるような、お菓子を作っていきたいと思います。



デイサービスでは、サンドイッチバイキングを行いました。サンドイッチ 4 種類とロールパン 5 種類、合わせて 9 種類用意しました。9 種類全部を食べられた方、気に入ったものをおかわりされる方、様々でしたが皆様に「お腹いっぱい。もう食べられへん。」「こんな初めてや～」と喜んでいただくことができ、たくさん作った甲斐がありました。卵がたっぷりに入った卵サンドはパンも卵もふわふわで食べやすく、おかわり続出で売り切れてしまいました。次回からは卵サンドを多めに用意しようと思います。



近江舞子しょうぶ苑



デイサービスの秋の一大イベントと言えば、「おごと温泉観光公園」への足湯体験です。9 月頃になると「今年も足湯に行くんか～」「楽しみにしてるんや～」「去年も行ったな～」とお出掛けを待ちわびておられる様子でした。最終的に 55 名の方が参加され、温泉の効能のある湯にゆっくり浸かった後は、お土産コーナーでショッピングも楽しまれている様子でした。「仏さんへのお土産や～」とおっしゃりながらお菓子を選ばれている方が数名おられて、ご先祖様を大事にする心に触れ、ほっこりとした気持ちになりました。



クラフト教室では、とっても珍しい「ランタン作り」に感動されたり、ときめきランチの「サンドイッチバイキング」では、「こんなの初めて～」とたくさんおかわりをされたり、ボランティアの皆様には非日常空間を体験させて頂けて、この秋もたくさんの笑顔に出会うことが出来ました(^_^)だんだんと寒くなる中、出かける事も億劫になりがちですが、デイサービスに来て良かったと感じ、お楽しみ頂けるように冬のイベントにも力を入れたいと思います！



近江舞子しょうぶ苑

菖蒲町では、季節が夏から秋に移り変わり、季節を感じて頂ける行事を企画することができました。
9月には夏らしいゼリーをおやつに召し上がって頂き、外に出かけるには良い気温になった11月には
近くのカフェに出かけておやつを食べる事ができました。
10月には苑で行った「秋祭り」に参加し、文化祭では秋らしい芸術作品ができあがりました。



山吹・大空町では、101歳になられた方のお誕生日会をしました。お祝いのプレゼントやお言葉で喜んでおられました。
若草町は、今年の秋も様々な企画を行いました。ご利用者の誕生日会やハロウィンパーティー、ときめきスイーツ等です。
ときめきスイーツでは、季節を感じるお菓子や飲み物を楽しみ談笑しました。



来年の秋にも楽しい企画を考え皆様に楽しんで頂きたいです。
厳しい残暑や気候の変動の影響で、秋を感じることのできる期間は短かったものの、秋祭りをはじめとするイベントや催しを通じて、ご利用者の皆さまとスタッフ一同、楽しい時間を共有しながら過ごすことが出来ました。今は一番寒い冬の季節となりましたが、みなさん元気に行事などを楽しみながら、暖かい春がやってくるのを待ちたいと思います。

近江舞子しょうぶ苑



の思い出 12月～2月



****デイサービスの活動**** 冬の訪れを感じつつも、デイサービスは賑やかでした。初めて来訪したギター演奏の皆様をはじめ、ウクレレやゴスペル、オカリナなど、多彩な音楽を楽しむ機会がありました。新年にふさわしい日本舞踊も披露され、非日常を体験していただきました。クラフト教室ではお正月飾り作りが好評で、ご利用者の玄関に飾られる様子を嬉しさを感じました。キルト教室では大作に挑戦し、やる気が高まりました。おやつ作りでは「八つ橋風どら焼き」に挑戦し、職員の腕の見せ所となりました。クリスマス会では立体パズルやプレゼント、大抽選会で盛り上がり、ときめきスイーツバイキングも大人気。
12月はブッシュドノエルなど、冬の味覚を楽しむ機会も豊富でした。



近江舞子しょうぶ苑



菖蒲町

寒さが強まり外出ができない日が多い季節となりました。室内でクリスマス会での“ビンゴゲーム”、ボールを豆代わりに鬼を払う福を招く“豆まき”、とくし丸で購入するコーヒーやお菓子で“おやつタイム”などをして過ごしました。雪解けと春の便りを心待ちに外出できる日を楽しみにしたいと思います。



山吹・大空町

節分で豆まきをしました。新聞紙で作った豆を鬼に向かってなげておられました。皆さん楽しんでおられ、鬼退治が出来たと思います。まだまだ寒い日が続きます。その中でもお元気で過ごしていただけるよう努めていきたいと思います。



近江舞子しょうぶ苑



ときめきスイーツ

12月は毎年恒例、ブッシュドノエルを作りました♪今回のブッシュドノエルは、飾りまで食べることができるようにと、アイシングクッキーに挑戦しました！赤や黄色、緑といったクリスマスカラーで見た目も華やかなブッシュドノエルになり、喜んで頂けました。
1月は菖蒲町とデイサービスで行いました。今回は新メニューを検討し、中でも「生どら焼き」が人気でした。粒あんに生クリームを混ぜることで、柔らかく、ふわっと仕上がり一般的などら焼きより食べやすい印象でした。気に入って頂け2個食べられる方もいらっしゃいました♪
2月は桜町とデイサービス対象に行いました！バレンタインにちなんで、チョコレートを使用したスイーツを作りました。チョコの甘さとコーヒーがよく合い楽しんで頂けたと思います。冬も、たくさんの方に喜んで頂くことができました。甘いものと温かい飲み物で心も体も温くなりました。



若草町

クリスマス会にオカリナ演奏、若草町恒例のお誕生日会など、今年の冬も色々なイベントを行いました。イベント毎にご入居者の皆様の笑顔が溢れ、職員も一緒に楽しませていただくことが出来ました。今後も楽しいイベントをどんどん企画し、皆様の笑顔や笑い声が絶えない町にしていきたいです。



真野しょうぶ苑

春

《springmemory2024 真野》

桜の開花に始まり、大空いっぱいの鯉のぼり・・・真野しょうぶ苑では、この春、沢山の笑顔が生まれました。

ボランティアさんの訪問、お花見外出、園庭での子供たちの笑い声、甘いスイーツと紅茶、お誕生日のお祝い、鯉のぼり祭り。

これから始まる夏には、どんな笑顔に会えるかな・・・



《summermemory2024 真野》

今年度、真野しょうぶ苑の夏はイベントが盛りだくさんでした。

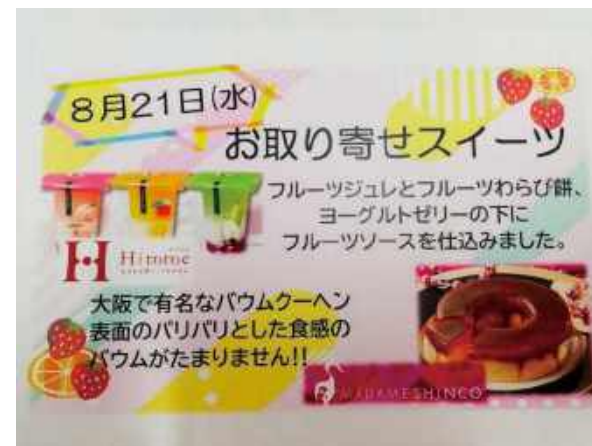
- ・夏野菜作り
 - ・真野しょうぶ苑『初』、夏祭りの開催
 - ・ボランティア様による歌の演奏や漫談
 - ・お買い物や外食を目的とした、おでかけ支援
 - ・ご当地おやつのお取り寄せや、おやつ作り
- などなど

さらには、今年度7月に当法人『志賀福祉会』が設立30周年となりました。

それを記念した慰安会などもあり、ご利用者、職員ともどもイベント盛りだくさんな夏となりました。

真野しょうぶ苑

夏



《冬の始まりを前に・・・2024 真野》

今年度の『秋』の行事を振り返りたいと思います。

秋と言えば『食欲の秋』。

今年は敬老会から始まり、ご利用者とお好み焼きを焼いたり・・・

全国のスイーツを取り寄せたり・・・

スイーツバイキングを行ったり・・・

外食で秋のスイーツを食べに行ったり・・・

『食欲の秋』をととても満喫できた日々でした♪

また、歌・ギターの演奏や、マッサージなど沢山のボランティアの方々が来苑して下さいました。

皆様ありがとうございました。

真野しょうぶ苑

秋





真野しょうぶ苑

《12月・1月・2月の思い出 2024～2025 真野》

クリスマス会

X,mas は特別ランチとストロベリーショートケーキを頂きました。職員によるハンドベル演奏をお届けし、クリスマスを味わって頂きました。



新年スタート ～初詣～



節分 ～新年の幸せを祈願して恵方巻を頬張りました～



桃の節句 ～ひな祭り～



ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。

麻雀教室、マジック披露、エコクラフト ご利用者の楽しみとなっています。

